令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	47	事業No.	248		
会計	一般会計				
事務事業名	消防施設整備事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	危機管理室	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		第11次消防力（消防団）整備計画
	法令・例規等			消防法
				動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令

事業目的		
	対象	市民の生命と財産及び消防団員
	意図	地域防災力向上につなげるため、よりよい機関機材の更新整備及び耐震貯水槽の適正配置

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	消防団に求められる災害対応へのさらなる期待に確実に応えるため、多機能型小型動力ポンプ付積載車の導入や団員の安全確保のための装備充実は必要不可欠となっています。あわせて、救助資機材の取扱い訓練、資格取得による団員育成、広域消防との連携による「チャレンジ防災４８」等を活用した訓練等を通じて、団員のスキルアップを図ることが必要とされています。また、耐震貯水槽の設置については、その機能を適切に発揮できるよう計画的な配置が求められています。

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・第11次消防力（消防団）整備計画に基づき、車両更新整備（消防自動車：山本、小型動力ポンプ付多機能型積載車：八幡）を行います。 ・耐震貯水槽（40ｔ）を三穂、鼎地区に２基設置します。 ・消防団における人材育成として、応急手当普及員の資格取得や同資格再講習の受講などを積極的に推進し、継続的な消防体制強化を図ります。	消防自動車更新（１台）	17,138
	小型動力ポンプ付多機能型積載車（１台）	14,630
	C-1ポンプ	932
	AED	220
	消火栓表示業務委託料	286
	防火水槽補修工事費	478
	詰所修繕料	1,500
	耐震性貯水槽設置（2基）	13,620
	その他の経費	1,701

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
車両更新	台	4	6	5	5	4		2	
救急訓練用ダミー	体	1	1	1	1				
救助用ボート	艘	1	1						
救命胴衣	着			80	80				
耐震貯水槽	基				1	3		2	
消防詰所建替	棟			1	1				

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	50,505	（地）緊急防災・減災事業債（充当率100%）　46,100千円
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	46,100	
その他	0	
一般財源	4,405	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	9	1	3	11	2	46,540 0	消防体制強化整備事業費（単独）
2	1	9	1	3	11	3	1,600 0	消防団詰所整備事業費
3	1	9	1	3	11	5	2,365 0	消防用施設整備事業費
4								
5								
6								
7								